



郡山高等学校

「探究科（仮称）」に関する説明会

- ・日時：令和6年1月31日（水）
- ・場所：郡山市中央公民館 多目的ホール

福島県教育委員会

1

説明会次第

1	開会
2	主催者あいさつ
3	資料説明
4	質疑応答
5	諸連絡
6	閉会



2

本日説明する内容

1	学科改編の概要
2	探究科と探究学習について
3	特色ある学びについて
4	探究科が目指す進路について
5	今後の日程について

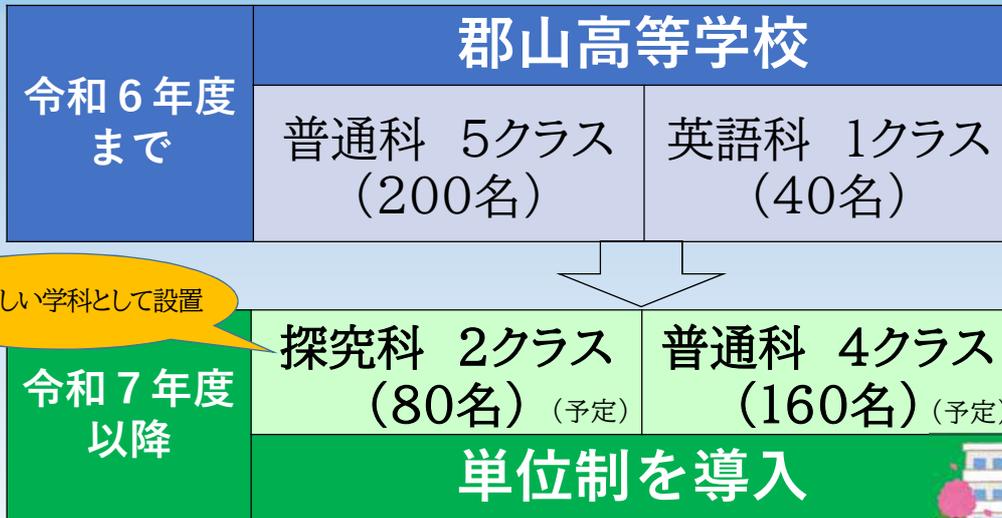


3

1 学科改編の概要



4



※「探究科」という名称は、現時点ではあくまで仮称ですが、説明の都合上、「探究科」とします。

< 探究科と普通科のそれぞれの特長 >

探究科

高度な学びを展開する「特別進学クラス」として位置づけます。県内初の進学系探究科として、探究活動の充実のみならず、先進的な学びを展開します。

独自の探究活動(5単位)

特色ある科目の導入

英語強化プログラム など

普通科

大学進学に向けた「授業」と「キャリア教育」を丁寧実践し、さらに充実した学びを探究科と共に展開します。

総合的な探究の時間(3単位)

探究科と連携した学び

大学入試にもしっかり対応



「探究科」では、こんな生徒を育てていきます



知識

技能・能力

人間性

夢を持って、自分の学びをデザインできる自立した学習者

自分の高校生活を
プロデュース
します。

自分で
学習計画を立てて
実行にうつします。

自分に
必要な学習は
何か理解して
います。

定期的に
振り返り
客観的評価を
行います。

ここ重要！

探究科は、郡山高校英語科からの学科改編でなく、探究学習を学科の学びの中心にした、**全く新しい学科として誕生します！**

高校入試について

募集定員
(予定)

探究科 2クラス
(80名)

普通科 4クラス
(160名)

高校入試における探究科と普通科の併願について

探究科を第1志望とする者は、第2志望として普通科を併願することができます。一方、普通科を第1志望とする者は、第2志望として探究科を併願することはできません。



2 探究科と探究学習について

郡山高校「探究科（仮称）」説明会 2 探究科と探究学習について

なぜ、今 探究科なのか？

現代社会

絶えず変化し、複雑で予測困難な社会

今求められている力

- 知識・技能
- 思考力、判断力、表現力
- 人間性、行動力、学びに向かう力

暗記学習や反復学習だけでは身につかない

これからの学び

自ら問いをたて、主体的・協働的な学びを通して、解決策にたどり着くことが重要

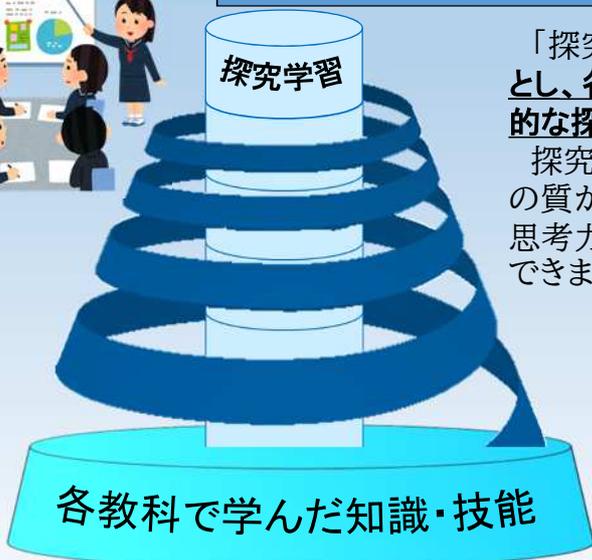


探究学習の重要性

全国的に探究科の設置

郡山高校探究科は、進学指導拠点校、及び進学指導重点校で、**県内初の探究科**となります

そもそも「探究科」とはどういう学科？



「探究科」とは、学科の学びの柱を「探究学習」とし、各教科で学んだ知識・技能を活用して発展的な探究学習を行う学科です。

探究学習を通して、学びに向かう姿勢や、学びの質が変わることにより、高い学力だけでなく、思考力・判断力、表現力を身につけていくことができます。



中学校と高校における探究学習の違い



	中学校 (総合的な学習の時間)	高校 (総合的な探究の時間)
目的	自己の生き方を考えていく 資質・能力の育成	課題を発見し解決していく 資質・能力の育成
探究の対象	主に自己や地域の課題	社会や世界の課題
活動範囲	主に個人や地元地域など	地域から世界まで広範囲
成果の発表	主にクラスや学校など	クラス・学校から 国際機関まで広範囲

高校での探究活動は、中学校よりも、広く深い探究を行っていきます

郡山高校探究科における探究学習はどういう学びか？

例：地球温暖化が進行しており、その原因の一つは、二酸化炭素です！

各教科での
学び

学んだことを知識として覚え、活用する

温暖化の原因は、二酸化炭素か！しっかり覚えよう。
温暖の原因は他に何かあるのか？
二酸化炭素を理解するためにも、化学をしっかりと学ぼう



探究学習での
学び

各教科の学びを土台として、課題に対し、自ら問いをたて、協働的な学びを通して、課題に対する理解を深めながら、解決策をまとめ、発表する

温暖化の原因は、本当に二酸化炭素なのか？
大学の研究所に聞いてみて、自分なりの仮説を立ててみよう！
新たな観点で二酸化炭素削減案をまとめて、発表しよう！



ここで一つ素朴な疑問が・・・



- ・探究活動に多くの時間をかけることは、**大学入試には不利なのでは？**
- ・探究活動の時間を、**各教科の勉強に回した方が、大学入試に良いのでは？**

探究活動は、**学びに向かう姿勢を変え、教科の学力向上に効果的**であり、さらに、**これからの大学入試にも適した学び**です。



詰め込み型学習



- ・ひたすら暗記する。
- ・知識量を問う問題をこなしていく。
- ・やらされ感のある勉強

「やりたいこと」「知りたいこと」のための勉強

- ★勉強がもっと好きになる
- ★学びの領域が自然と広がっていく
- ★いろいろなことにアンテナをはるようになる



- 例えば・・・**野球**が大好き！！
- ◆どう打ち方が遠くまで飛ぶのか
 - ◆打てるようになるにはどう筋肉が欲しいのか
 - ◆どう食事が必要なのか
 - ◆野球関連の用語を英語で何と言うのか



大学でもっと
深めたい！

大学進学のための目的がより明確になり、学習に対するモチベーションが向上する。



探究に取り組むと
正答率が高くなる



文部科学省が平成27年度に行った調査データによると、**探究的な学びに積極的に取り組んだ生徒ほど、教科の平均正答率が高い**ことが分かっています。

思考力・判断力・
表現力が育成される



大学入学共通テストでは、探究活動で培われるような「思考力、判断力、表現力」を重要視した問題が実際に出題されています。

大学入試「**総合型選抜**」に対応できる



今後の大学入試では、高校3年間で「何を」よりも「どのように」学んだかを合否の判定基準にする「**総合型選抜入試**」が**増加**し、より探究活動の重要性が高まっています。

郡山高校探究科

募集定員80名(予定)「特別進学クラス」としての位置づけ

夢を持って、自分の学びをデザインできる自立した学習者

志望大学への進路実現

①独自の総合的な探究の時間

探究活動

②教科横断的な学びの導入

③特色ある科目の導入

④様々な学校や機関との連携

⑤充実した英語教育

これまでの郡山高校普通科、英語科で蓄積してきたノウハウ



①独自の「総合的な探究の時間」

探究科では、3年間の計画的な探究活動を通して、生徒の探究力を育成します。

1年（2単位）

探究活動の基礎

- ・探究技能の習得
- ・論理的思考の育成
- ・コミュニケーション力の育成



2年（2単位）

探究活動の実践

- ・情報の収集
- ・整理・分析
- ・探究の深化



3年（1単位）

探究活動のまとめと発信

- ・各種大会等の参加
- ・研究論文の作成
- ・成果の発表



時間をかけて
自分のテーマを
設定

大学教授や研修施設、企業等からの協力・連携
国内外のフィールドワークの導入
地域職業人との交流、外部講師による講演会

英語をツールとした
発表や
プレゼンテーション¹⁸



②教科横断的な学びの導入 【クロスカリキュラム】



郡山高校探究科では、教科・科目の枠を越えた授業を積極的に導入します



③特色ある科目の導入



シチズンシップ 政治や経済の原理、哲学や思想を個別に学習するのではなく、これらの内容を合わせて学習することで、目の前にある政治や経済の問題をより深く考え、世界市民の一員として社会を考える科目です。

世界市民意識・多角的分析力

グローバルコミュニケーション 世界の国々の高校生とオンラインでつながり、各国や地球規模の問題や課題について意見を出し合い学ぶことで、語学力と、プレゼンテーションの向上を目指す科目です。

語学力・プレゼンテーション力

探究学習

協働的学習・グローバル的視点

紛争や国境を越える環境問題、格差や分断など世界で起こっている様々な出来事をテーマに、地理的な条件や歴史的背景を踏まえて、よりよい世界の在り方を考える科目です。この科目では、各国の大使館の協力を得ながら学習を進めます

ワールドリテラシー

数学的・科学的思考力

数学をより深く学び知識を深めるとともに、数学的な見方・考え方を身につけ、さまざまな問題を科学的・数学的に考え、的確な方法で解を導き出す科目です。

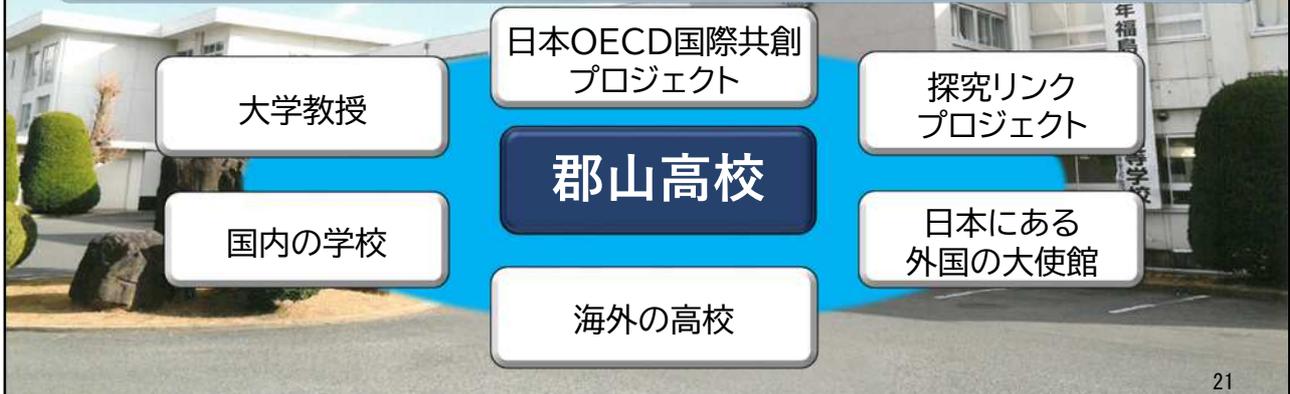
理数数学・理数数学特論



④ 様々な学校や機関との連携 【コンソーシアム構想】



探究科では、国内外の様々な学校や機関等と協力・連携していきます



現在予定している連携先

連携先	協力・連携内容
日本OECD 国際共創プロジェクト	国内外の学校や国際機関と連携し、予測するのが難しい時代に必要とされる能力を向上させるための様々な取り組みを行う。
大学教授	教育コースにおける協力・連携やSTEAM教育、教科を横断した新しいカリキュラムの開発を行う。 「絵本多読プログラム」の実践と大学での研究結果を受けた英語教育プログラムの実践を行う。
校種を超えた 様々な学校	聴覚支援学校や中学校、海外の学校とオンラインやオフラインで連携し、多様な視点で探究や学びを深める。

⑤ 充実した英語教育



英語をツールとして、海外の生徒との交流を導入します。

大学教授と協力・連携した英語強化プログラムや多読プログラムを導入します。

英語によるプレゼンテーションやディベートができるようになるための学びを導入します。

郡山高校探究科では、これまでの郡山高校普通科・英語科での学びの経験を活かして、一層高いレベルの英語教育を導入していきます。

23

令和5年11月30日に、OECD国際共創プロジェクトの一環で郡山・安積高校の生徒と、ポルトガルの生徒で、英語を通じた交流を行いました。後日、新聞にも掲載されました。

探究科では、こうした活動を積極的に導入していきます。



郡山高校では、令和7年4月の探究科設置に向けて、**今年度より様々な取組を先行して実践**し、探究科の円滑な導入に向けて、着実に準備を進めています。

24

4 探究科が目指す進路について

25

郡山高校「探究科（仮称）」説明会

4 探究科が目指す進路について



大学入試について



大学入試制度改革により、令和2年度から大学選抜入試が大きく変わりました。

学校推薦型選抜入試 （旧推薦入試）

学校長の推薦を受けることで出願できる。書類審査や小論文、面接が中心だが、一部の国公立大は共通テストや独自の学科試験を課すこともある。「**指定校制**」と「**公募制**」の2種類がある。

総合型選抜入試 （旧AO入試）

大学が求める学生像にマッチする受験生を採用する入試方式。高校での様々な活動、例えば、**探究活動や生徒会活動などを、合否判定の材料とする。**面接や小論文、ディスカッションや、プレゼンテーションを用いて合否を決める。

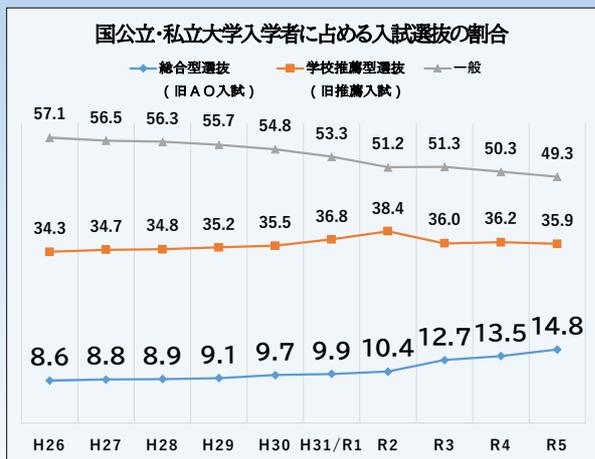
一般入試

令和3年度より、かつての「大学入試センター試験」から、**現在の「大学入学共通テスト」へと変更。**特に、**国公立大学では、「大学入学共通テスト」と、各大学の個別試験の結果を総合して合否を判定する。**

26

総合型選抜入試について

総合型選抜入試は、年々増加傾向にある。特に国立大学で増加している入試形態である。



挑戦心のある国内外の人材

アドミッション機構

全ての入学者選抜を統括

- 選抜試験を全て総合型選抜（現行AO入試）へ移行

戦略的なリクルート

- 海外同窓会・エージェン等とも連携し、優秀な留学生を戦略的にリクルート

研究者を業務から解放

- プロフェッショナルによる入学者選抜へ

「東北大学国際卓越研究大学研究等体制強化計画」より

東北大学は、昨年、入学者選抜の方式について、今後、一般入試を廃止し、すべて総合型選抜入試に移行することを公表しました。これに追随する国公立大学や私立大学も出てくると予想されています。

探究学習の重要性

郡山高校「探究科」が目指す進路

大学進学

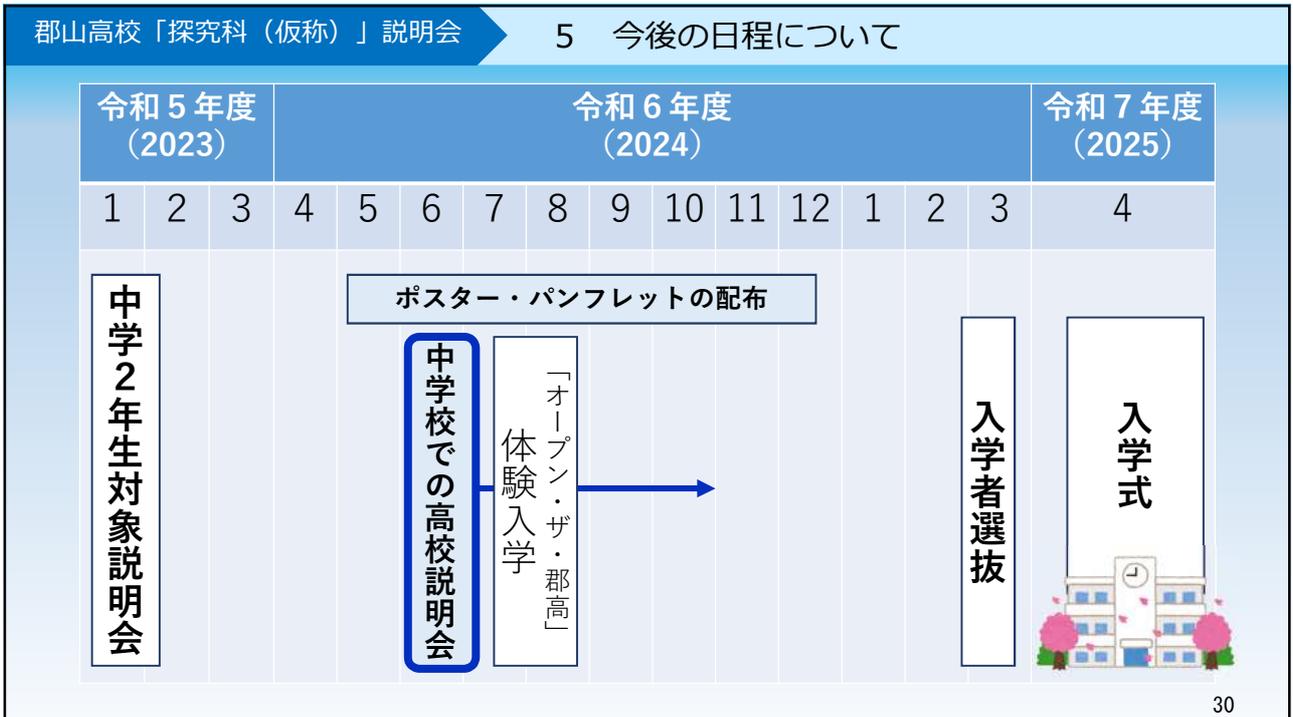
学校推薦型選抜入試

総合型選抜入試

一般入試

進学指導重点校として、一般入試だけでなく、**生徒のあらゆる進学希望に対応できる学力や思考力、判断力、表現力を育成**し、難関大学など、高いレベルの大学進学を目指します。

県内初の進学系探究科として、充実した探究活動を活かせるような、「**総合型選抜入試**」にも対応できる力を育成していきます。



郡山高等学校 体験入学「オープン・ザ・郡高」

時期	令和6年 7月下旬
場所	郡山高等学校
対象者	中学3年生
内容	「 探究科 」を理解してもらうために「 探究科フキ体験 」を計画しています。是非御参加ください。

31

- Q1 ・これまでの英語科と入試レベルは同程度を想定していますか。
・高校受験の際の偏差値はどれくらいで合格しますか。新しい学科だから変わるのですか。
- A1 入試レベルや偏差値は、出願状況等によって大きく変わってきます。これまでの説明にありましたように、探究科は「特別進学クラス」としての位置づけとなり、探究学習を中心に、より高度な学びを実践していく学科です。
- Q2 一人一人が自分の興味関心のある事柄について探究することができるのでしょうか。
- A2 できます。生徒本人の興味関心や適性等を確認しながら、適切な探究テーマを設定できるように指導していきたいと考えております。また、個別探究だけでなく、グループ単位の探究も現在検討しております。
- Q3 ・何クラスになりますか ・募集定員は何人か。
・今後の郡山高校の学科編成(英語科の有無)や募集定員等について
- A3 探究科2クラス(80名)、普通科4クラス(160名)の予定です。英語科は令和6年度を最後に募集停止になる予定です。

32

Q4 ・探究科の魅力は何ですか。 ・どのような特色を目指しているのか。

A4 県内初の進学系探究科として、特別進学クラスとして位置づけ、独自の総合的な探究の時間や、クロスカリキュラム、国内外の様々な学校や機関との連携を通して、総合型選抜入試を中心に、生徒が志望する大学へ入学できる力を育成していきます。

Q5 ・どのような生徒の入学を期待しますか。

A5 大学進学に向け、積極的に勉強や探究活動に取り組める生徒の入学を期待しています。詳しくは、学校のHPに掲載されているスクール・ポリシーや、来年度公表される「令和7年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法」を御覧ください。

Q6 ・探究科独自の時間割は週に何時間ありますか。

A6 現在カリキュラムを検討中ですので、来年度の体験入学等までには、お伝えできるように準備を進めていきたいと思っております。

郡山高等学校「探究科（仮称）」に関する説明会

本日はご来場いただきありがとうございました。
探究科の設置に向けて、参考といたしますので
アンケートへの御協力をお願いします。



アンケートの回答は、こちらの二次元コードから



福島県教育委員会